

資料 1

東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター

白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会

モニタリング現地調査報告

1 目的

活動拠点となる 180 い5 林小班の間伐は列状に 5m 伐採、10m 残しで実行済み。この伐採列の中に広葉樹侵入等に関するモニタリング調査箇所を 3 パターン設定し、設定方法による稚樹の発生状況に差違があるかを検証する。

2 現地概要

- ・場所：西目屋村鬼川辺国有林 180 い5 林小班
- ・機能類型：森林空間利用タイプ
- ・林種：単層林 　・主要樹種：スギ 　・林齢：59 年生
- ・混交割合：100% 　・面積：14.99ha 　・伐採率：33%
- ・伐採年度：平成 27 年度間伐（列状）

3 調査方法

林地を列状に間伐し、その後の植生の生育状況などを調査することとし、次の 3 種類の調査箇所を設定。

A 区域 搬出路に対して直角の伐採列 ※通常の列状間伐の形態

B 区域 広葉樹の区域ぎりぎりまでの伐採列

C 区域 日照を考慮して南北に設置した伐採列

これらの箇所に設定した植生プロットにおいて、発生状況等を確認。

A～C 区域 3 種類のモニタリング調査の列 1 本に 2 箇所、隣の残し列に 1 箇所植生プロットを設定（4m × 4m）。

※全部で 3 区域 × 3 = 9 プロット。調査は樹種・高さを計測。

4 修正箇所について

- ・A 区域プロット A 1-1 における、令和 6 年度の調査にて新規確認できたので No.11 でサクラを追加修正。プロット A 1-3 における令和 2 年度の調査にて No.2 について欠としていたが、令和 6 年度の調査で確認できたので No.2 ミズナラを再発見で追加修正。
- ・B 区域プロット B 1-3 における、令和 6 年度の調査にて No.33No.34 を確認できなかったため No.33No.34 ミズナラを欠で修正。また、令和 6 年度調査にて新規確認できたので No.36 ミズナラで追加修正。

- ・ C区域プロットC 1－1における、令和6年度の調査にて No.20 シウリザクラ No.26 スギが枯死していたため欠で修正。また、令和6年度調査にて新規確認できたので No.28 でシウリザクラを追加修正。

5. 集計結果

生立木本数一覧表（単位：本）

A区域

プロット番号	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	特記事項
A 1-1	8	8	9	9	6	6	7	8	9	1本新規発見
A 1-2	8	6	10	9	9	9	9	9	9	
A 1-3	1	1	2	3	1	1	1	1	2	1本再発見
小計	17	15	21	21	16	16	17	18	20	

Aプロットについては、広葉樹稚樹が発生している年もあるがその頻度はBプロット（特に1-3）と比較すると著しく少ない。

樹高総和一覧表（単位：m）

A区域

プロット番号	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	特記事項
A 1-1	5.72	8.40	9.24	12.23	11.05	12.98	16.95	19.92	21.21	雪折3本
A 1-2	5.02	6.90	10.48	11.46	12.71	14.20	13.73	14.59	14.73	雪折1本
A 1-3	1.06	1.36	1.49	2.76	2.91	3.70	3.30	4.27	5.98	
小計	11.80	16.66	21.21	26.45	26.67	30.88	33.98	38.78	41.92	

生立木本数一覧表（単位：本）

B区域

プロット番号	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	特記事項
B 1-1	4	4	7	5	3	3	3	3	3	
B 1-2	8	7	7	8	8	8	8	8	8	
B 1-3	0	0	10	15	19	18	21	23	22	1本新規発見 2本消失
小計	12	11	24	28	30	29	32	34	33	

B1-3については、途中の淘汰はあるが、3年目以降、連続的に新たな広葉樹稚樹が発生している。これはプロットを広葉樹林の近くに配し、種子の飛来を期待した当初の意図と矛盾しない。（6年度も発生）

樹高総和一覧表（単位：m）

B区域

プロット番号	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	特記事項
B 1-1	0.82	1.14	2.70	2.88	3.09	3.54	4.02	4.21	4.57	
B 1-2	4.64	5.15	6.84	9.38	13.56	14.48	17.12	16.35	16.59	雪折1本
B 1-3	0.00	0.00	1.81	2.88	2.96	3.62	5.73	7.33	8.08	
小計	5.46	6.29	11.35	15.14	19.61	21.64	26.87	27.89	29.24	

生立木本数一覧表（単位：本）

C区域

プロット番号	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	特記事項
C 1－1	6	6	7	22	17	18	20	20	19	1本新規発見 2本枯死
C 1－2	8	8	10	8	7	7	7	6	6	
C 1－3	12	7	0	0	0	0	4	4	4	
小計	26	21	17	30	24	25	31	30	29	

樹高総和一覧表（単位：m）

C区域

プロット番号	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	特記事項
C 1－1	1.12	3.06	5.41	17.21	15.52	22.65	23.10	27.40	28.83	雪折1本
C 1－2	4.72	6.36	7.88	8.40	8.39	8.76	9.65	9.39	9.51	
C 1－3	1.38	1.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.74	0.98	1.07	
小計	7.22	11.08	13.29	25.61	23.91	31.41	33.49	37.77	39.41	

※プロットC 1－2 N0. 9、10のスギの数値は本表には反映させていない。

日照を考慮した当プロットは、1-1については、この9年間で他プロットを大きく上回る成長率が見られ、当初の期待どおりの結果となっている。しかし、1-3については、その日照が裏目に出たためか、下層植生の繁茂が著しく、調査開始当初には12本の広葉樹稚樹が見られたものの下層植生に被圧され、2年後には全く見られなくなり、令和4年に4本新規発生しているが、その後の発生状況も同じ理由によりかんばしくない状況にある。

6. まとめ

A区域に関して、A 1－1で1本新規発見し、A 1－3で1本再発見したため、A区域では2本増となった。令和6年度A区域は雪折れは4本あったものの生育が良好なこと、新規発見と再発見があったことで令和5年度の樹高総和を上回った。又、Aプロットの総本数については20本でB・C区域より少ないが樹高の総和が41.92mと一番あるため昨年度の報告と同様に成長が良好なプロットといえる。

B区域に関して、特にB 1－3において平成30年から令和3年度を除き新たな稚樹が発生していることから広葉樹の区域に近い効果が顕著に表れている。そのことからBプロットの総本数は33本で一番多い。しかし、雪折れは一本あるものの樹高の総和は1年で1.35mでA・Cプロットより成長が悪く樹高総和も一番低い、現時点での成長が悪い要因がなにかははっきりしていないが、今後の推移を注視したい。

C区域に関しては、日照を考慮したプロットで、年度によってバラツキはあるが、稚樹が発生しており、特に令和4年度は新たな稚樹が、7本発見されている。しかしながら、C 1－3については、平成30年度に7本～0になっていて、令和4年度に4本発見されるまでは0であったため日照関係から下草の影響があったと推測されるが、今後も注視する必要がある。又、令和6年度は1本、新たな稚樹の発見があったが、2本欠になり。総本数は29本で3プロットの中では2番目に、樹高総和についても2番目の39.41mで成長も良い。

全体としては、各プロットの本数で増減はあったが、総本数で増減なしの82本で、樹高の総和も昨年度より6.13m増の110.57mで順調に増加している。10年間（残り1年分）のプロット調査を今後も実行して検証していきたい。

A区域の各プロットの樹種・樹高調査状況

【単位:m】

(A区域伐列)

プロット A1-1

NO	樹種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	サクラ	1.00	1.60	1.75	2.00	2.50	2.80	3.00	3.45	3.40	折損
2	サクラ	0.88	1.50	1.54	2.00	2.50	2.95	3.40	3.51	3.80	
3	サクラ	0.58	0.60	折れ	—	—	—	—	—	—	
4	サクラ	0.40	0.80	0.96	1.10	欠	—	2.00	2.10	1.60	折損
5	サクラ	0.58	0.90	1.30	1.70	1.80	2.10	2.30	2.62	2.40	折損
6	サクラ	1.10	1.40	1.16	2.20	2.50	2.95	3.40	3.90	4.20	
7	サクラ	0.60	0.70	0.77	0.77	欠	—	—	—	—	
8	サクラ	0.58	0.90	0.91	0.94	欠	—	—	1.14	1.20	
9	ミズナラ			0.55	0.82	0.84	1.08	1.40	1.70	1.79	
10	ミズナラ			0.30	0.70	0.91	1.10	1.45	1.50	1.55	
11	サクラ									1.27	新規

※令和6年度調査で新たにサクラを発見した。No.1 No.4. No.5は折損していたため前年度より樹高が低くなっている。

(A区域残し列)

プロット A1-2

NO	樹種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	ホオノキ	0.66	折れ	—	—	—	—	—	—	—	
2	ホオノキ	1.10	1.30	1.36	1.38	1.50	1.60	1.90	1.81	1.83	
3	イタヤカデ	0.40	0.50	0.65	0.68	0.80	0.88	1.04	1.19	1.32	
4	ホオノキ	0.94	1.60	1.53	2.40	2.80	3.45	3.30	3.54	3.50	
5	ホオノキ	0.74	1.60	1.68	1.68	1.64	1.78	0.83	0.83	0.91	
6	ホオノキ	0.70	1.60	1.68	1.70	1.80	1.88	1.89	1.85	1.87	
7	ホオノキ	0.24	0.30	0.27	折れ	—	—	—	—	—	
8	ホオノキ	0.24	折れ	—	—	—	—	—	—	—	
9	サワグルミ			1.80	1.90	2.10	2.35	2.40	2.83	2.60	折損
10	オニグルミ			0.56	0.60	0.68	0.70	0.74	0.77	0.80	
11	オニグルミ			0.57	0.62	0.72	0.77	0.79	0.83	0.85	
12	オニグルミ			0.38	0.50	0.67	0.79	0.84	0.94	1.05	

※No.9は折損していたため、前年度より樹高が低くなっている。

(A区域伐列)

プロット A1-3

NO	樹種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	ホオノキ	1.06	1.36	1.37	1.37	2.30	3.70	3.30	4.27	5.40	
2	ミズナラ			0.12	0.12	欠	—	—	—	0.58	再
3	サクラ				0.77	欠	—	—	—	—	
4	サクラ				0.50	0.61	欠	—	—	—	

※No.2は令和2年度で欠としていたが、令和6年度の調査で再発見した。

B区域の各プロットの樹種・樹高調査状況

【単位:m】

(B区域伐列)

プロット B1-1

NO	樹種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	クワノキ	0.30	0.42	0.24	0.40	0.68	1.01	1.22	1.22	1.44
2	クワノキ	0.10	0.23	0.19	0.18	欠	—	—	—	—
3	イタヤカエデ	0.20	0.24	0.42	0.62	0.91	0.97	1.24	1.47	1.61
4	クワノキ	0.22	0.25	0.14	0.18	欠	—	—	—	—
5	キハダ			0.22	欠	—	—	—	—	—
6	キハダ			0.14	欠	—	—	—	—	—
7	コシアブラ			1.35	1.50	1.50	1.56	1.56	1.52	1.52

(B区域残し列)

プロットB 1-2

NO	樹種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	サクラ	1.48	1.60	2.46	2.50	2.50	2.33	3.10	3.10	2.87
2	ホオノキ	0.70	1.00	1.26	1.51	1.89	1.75	1.90	1.92	1.98
3	ホオノキ	0.40	0.76	0.93	1.10	1.10	1.21	1.32	1.36	1.36
4	ホオノキ	0.16	0.18	0.10	0.12	0.15	0.19	欠	—	—
5	ホオノキ	0.90	0.71	1.07	1.26	1.26	1.36	1.37	0.50	0.50
6	ホオノキ	0.40	0.60	0.66	0.76	0.76	0.85	0.85	0.87	0.93
7	ホオノキ	0.30	欠	—	—	—	—	—	—	—
8	ホオノキ	0.30	0.30	0.36	0.43	欠	—	0.53	0.55	0.55
9	サクラ				1.70	1.90	2.19	2.55	2.55	2.60
10	シウリザクラ					4.00	4.60	5.50	5.50	5.80

※No.1は折損していたため、樹高が低くなっている。

(B区域伐列)

プロットB 1-3

NO	樹種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	ミズナラ			0.18	0.20	0.19	0.22	欠	—	—
2	ミズナラ			0.17	0.17	0.20	0.31	0.41	0.51	0.57
3	ミズナラ			0.17	0.20	欠	—	—	—	—
4	ミズナラ			0.22	0.32	欠	—	—	—	—
5	ミズナラ			0.13	欠	—	—	—	—	—
6	ミズナラ			0.33	欠	—	—	—	—	—
7	ミズナラ			0.10	0.15	欠	—	—	—	—
8	ミズナラ			0.15	0.24	欠	—	—	—	—
9	ミズナラ			0.10	0.12	欠	—	—	—	—
10	ミズナラ			0.26	0.43	欠	—	—	—	—
11	ブナ			0.10	0.10	欠	—	—	—	—
12	ブナ			0.14	0.21	0.27	0.33	0.38	0.36	
13	ブナ			0.13	0.21	0.31	0.50	0.65	0.81	
14	ブナ			0.10	0.13	0.26	0.38	0.53	0.73	
15	イタヤカエデ			0.09	欠	—	—	—	—	—
16	イタヤカエデ			0.07	0.09	0.11	0.18	0.24	0.28	
17	ブナ			0.27	0.32	0.34	0.55	0.70	0.84	
18	イタヤカエデ			0.15	欠	—	—	—	—	—
19	イタヤカエデ				0.07	0.10	0.12	0.18	0.15	
20	イタヤカエデ				0.16	0.15	0.20	0.25	0.30	
21	イタヤカエデ				0.16	0.14	0.18	0.22	0.24	
22	イタヤカエデ				0.11	0.11	0.13	0.15	0.17	
23	イタヤカエデ				0.14	0.14	0.20	0.21	0.27	
24	ブナ				0.13	0.22	0.22	0.22	0.21	
25	ブナ				0.22	0.23	0.31	0.31	0.46	
26	ブナ				0.17	0.21	0.40	0.40	0.40	
27	ブナ				0.15	0.23	0.26	0.29	0.27	
28	ブナ				0.08	0.12	0.32	0.32	0.32	
29	ブナ				0.12	0.15	0.22	0.32	0.31	
30	ブナ					0.36	0.47	0.64		
31	ミズナラ					0.16	0.16	0.18		
32	ブナ					0.18	0.22	0.20		
33	ミズナラ					0.12	0.15	欠		
34	ミズナラ						0.23	欠		
35	イタヤカエデ						0.22	0.22		
36	ミズナラ							0.15	新規	

※令和6年度の調査で、No.36ミズナラを発見。令和5年度に発見したNo.33とNo.34は消失していた。

C区域の各プロットの樹種・樹高調査状況

【単位:m】

(C区域伐列)

プロット C1-1

NO	樹種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	ホオノキ	0.08	0.40	1.14	1.70	欠	2.70	3.30	3.87	3.90
2	ブナ	0.08	0.41	0.70	1.10	1.49	1.90	2.30	2.76	3.20
3	カツラ	0.14	0.34	0.58	0.66	欠	—	0.77	0.81	0.83
4	カツラ	0.26	0.51	1.04	欠	—	—	—	—	—
5	カツラ	0.18	0.51	0.57	欠	—	—	—	—	—
6	サクラ	0.38	0.89	1.13	1.20	1.40	1.58	1.85	2.05	2.10
7	ミズナラ			0.25	0.60	0.72	1.02	1.32	1.71	1.80
8	サクラ				1.20	1.38	1.54	1.73	2.00	1.60
9	シウリザクラ				0.77	0.69	1.28	1.30	1.35	1.23
10	シウリザクラ				0.35	0.60	0.72	0.76	0.73	0.60
11	シウリザクラ				0.83	0.93	1.10	1.15	1.57	1.58
12	シウリザクラ				0.77	0.96	1.26	1.18	1.34	1.56
13	ハンノキ				0.66	0.86	欠	—	—	—
14	シウリザクラ				0.74	0.84	0.92	1.14	1.30	1.25
15	シウリザクラ				0.97	0.70	1.23	折れ	—	—
16	シウリザクラ				0.94	0.94	1.55	0.78	1.10	1.60
17	シウリザクラ				0.78	0.84	1.09	1.14	1.53	1.55
18	シウリザクラ				0.79	0.97	1.09	折れ	—	—
19	シウリザクラ				0.80	1.08	1.41	1.12	1.30	1.50
20	シウリザクラ				0.19	0.36	0.30	0.45	0.50	欠
21	シウリザクラ				0.18	欠	—	—	—	—
22	シウリザクラ				0.80	欠	—	—	—	—
23	シウリザクラ				0.53	0.76	1.00	1.12	1.19	1.45
24	シウリザクラ				0.65	欠	0.96	1.05	1.24	1.40
25	スギ							0.26	0.35	0.42
26	スギ							0.20	0.39	欠
27	イタヤカエデ							0.18	0.31	0.32
28	シウリザクラ									0.94

※令和6年度調査で新たにシウリザクラを発見した。No.20とNo.26は枯死していた。

(C区域残し列)

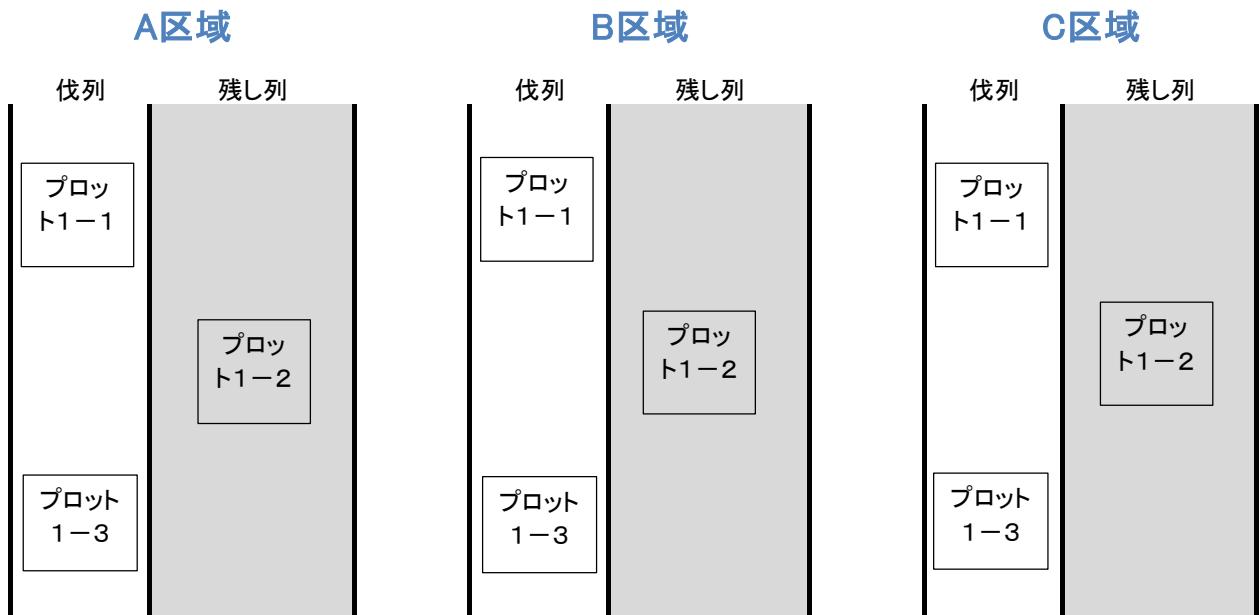
プロットC 1-2

NO	樹種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	ミズナラ	0.34	0.41	0.18	欠	—	—	—	—	—
2	ホオノキ	0.60	0.85	1.02	1.15	1.17	1.27	1.30	1.36	1.36
3	ホオノキ	0.36	0.36	0.70	0.82	0.29	0.51	0.54	0.59	0.61
4	ブナ	2.00	2.32	2.50	2.60	3.00	3.20	3.84	3.84	3.90
5	ホオノキ	0.56	0.87	1.04	1.23	1.28	1.15	1.24	1.24	1.25
6	ホオノキ	0.60	1.06	1.24	1.45	1.47	1.49	1.56	1.62	1.65
7	ブナ	0.08	0.28	0.36	0.39	0.48	0.45	0.45	枯	—
8	ハンノキ	0.18	0.21	欠	—	—	—	—	—	—
9	スギ	9.00	9.00	9.50						
10	スギ	21.00	21.00	22.00						
11	ミズナラ			0.25	欠	—	—	—	—	—
12	ミズナラ			0.16	0.16	欠	—	—	—	—
13	サクラ			0.43	0.60	0.70	0.69	0.72	0.74	0.74

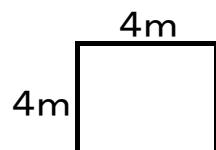
(C区域伐列)
プロット C1-3

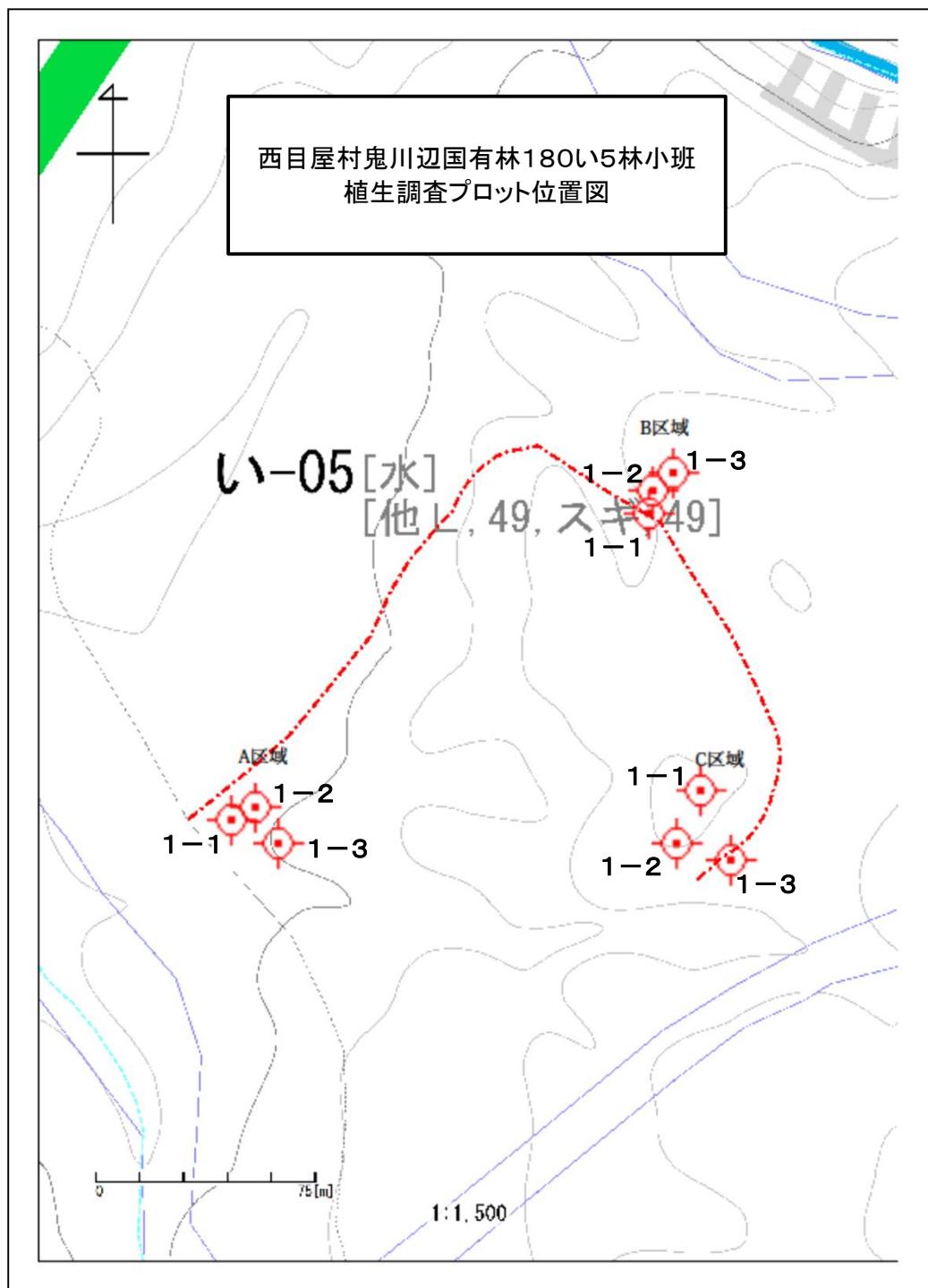
NO	樹種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	シウリザクラ	0.14	0.26	欠	—	—	—	—	—	—
2	シウリザクラ	0.14	欠	—	—	—	—	—	—	—
3	イタヤカエデ	0.16	0.24	欠	—	—	—	—	—	—
4	エノキ	0.10	0.18	欠	—	—	—	—	—	—
5	イタヤカエデ	0.12	0.16	欠	—	—	—	—	—	—
6	カツラ	0.12	欠	—	—	—	—	—	—	—
7	シウリザクラ	0.10	0.40	欠	—	—	—	—	—	—
8	シウリザ克拉	0.08	欠	—	—	—	—	—	—	—
9	シウリザ克拉	0.06	欠	—	—	—	—	—	—	—
10	サクラ	0.12	欠	—	—	—	—	—	—	—
11	シウリザ克拉	0.06	0.10	欠	—	—	—	—	—	—
12	カツラ	0.18	0.32	欠	—	—	—	—	—	—
13	イタヤカエデ							0.20	0.23	0.28
14	イタヤカエデ							0.20	0.29	0.29
15	イタヤカエデ							0.18	0.23	0.24
16	イタヤカエデ							0.16	0.23	0.26

各プロットの配置状況



※各プロットの大きさ





自然再生活動およびモニタリング調査プロット位置図

